

2019 年度韓国留学体験レポート

国際文化学科

21019094

樋口 阿理紗

授業について

午前は主に文法や読み、書き、聞き取り、話すことを中心に勉強をしました。クラスメイトはほとんどが外国の方なので韓国語でコミュニケーションをとる機会が増えると思います。午前の授業で韓国語の基礎が学ぶことができ、外国人の友達や先生と会話ができるようになりました。午後の授業は韓国の文化や歴史、音楽、料理、伝統などを学びました。新潟の学生たちと一緒にロッテワールドに行ったり、景福宮でチマチョゴリを着たり、K-POPダンスをしたりと様々な体験を通して韓国の文化や流行を学びました。午後の授業では先生が曜日ごとに違うため、たくさんの先生にお世話になりました。キョンヒ大学の先生はとても優しく、面白く、私たちが知っている単語で説明してくれるため授業を楽しく受けることができたと思います。最初は心配していた韓国語の勉強も支えてくださった先生方のおかげでテストでもよい点数を出すことができました。私のクラスメイトと先生は本当に優しい人が多く、雰囲気も良かったため授業中も積極的に発言できました。今でもクラスメイトとはたまに連絡を取り合います。素敵な方々に出会えたことに本当に感謝しています。

生活について

私たちはキョンヒ大学から徒歩 10 分くらいにあるリーダーベリーという寄宿舍で 4 カ月生活していました。特に不便な点もなく、みんなで仲良く生活することができました。食べ物もおいしく、特に困った点はなかったですが、日本食がたまに食べたくなるので親から仕送りで日本食やお菓子を送ってもらっていました。外食やベダル文化があるので、おいしいものを食べることができました。行きつけのお店も見つけ、お店の人と顔見知りになり、フェギはとても魅力的な町だと思いました。出会えたすべての人、優しく接してくれた人に感謝でいっぱいです。

まとめ

今回 4 カ月の韓国留学を通して出会いと別れを経験し、人と人とのつながりの大切さを痛感しました。新潟のみんなで助け合い、現地の人に助けられ、トウミや先生に様々なことを教わり、人の優しさに触れることができました。語学の向上も大切ですが、それ以上に大切なことも学ぶことができました。日韓関係はよくないと言われていますが、韓国留学をしたことによりその偏見もなくなり、少し安心した部分もありました。社会は悪化しても人との繋がりは悪化していないと感じるようになりました。実際に行かないとわからない韓国の状況を知ることができたのも貴重な体験だったと思います。私たち 16 人の生徒が健康で留学生活を終えることができたのも支えてくださった現地の方、家族、先生方、15 人の仲

間のおかげです。私たちの韓国留学を支えてくださったすべての方に感謝します。ありがとうございました。